

高田先生、ペアレンツキャンプの皆様

秋季さわやかなよい季節となりましたが、先生方におかれましては、日々ご活躍のことと思います。

この度、1年間の家庭教育支援を卒業させていただきました。

担当していただいた、高田先生には、本当にお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。

思いおこせば、小1の3学期ごろ、「歩いて行くのがこわい」と言いたし、朝途中まで一緒に歩いて行くようになったのが始まりでした。

そして小2の2学期、夏休み直前にとらとら、玄関から動けなくなりました。なだめたり、怒ったり、何をしてもダメで、

結局終業式までは、数日しか行くことができませんでした。小学校の相談員の方には、

行かないと言っても、そんなんでー。と返事

しましょう。戻るのは一年くらい

かかると思っておいの方がー

いいですよ。と言われ、モヤモヤしながら帰った記憶があります。

これではダメだ。本当に行かなくなってしまう！と担任の先生に協力いただき、夏休みに学校へ行く練習をさせてもらい、2学期の始業式。制服にも着がえ、おっこれは！と思いましたが、学校に着くと泣きました。結局一緒に教室までついて行くことになりました。それから、母子登校の日々が始まりました。最初の10月は、給食の時以外は1日中学校にいました。1日中から、4時間目まで、3時間目まで……朝の会まで。とつく時間が短かくなり、このままつかなくてもよくなるかな？とは思いましたが、一人で家から歩いて行くなんで、到底無理だろうな、とその時は思っていました。そして3年になり、不安からか、数日休みました。休み明け、また教室までついて行く日々が始まり……

これは、私のやり方が違うんだ。と確信しました。そこから本や

ネットで調べ、たどり着いたのが、ペアレントキャンプ

でした。初めてメールで相談した時も、的確な

お返事をくださり、その後、初めての電話

相談で、その後担当になって

いただいた高田先生に

相談させていただき、私に必要だったのはこれだ!と思い、
主人とも相談し、すぐに家庭教育支援コースをお願いしました。
支援が始まってからは、学ぶ事だらけでした。～しなさい(命令)
～したら?(提督)のおバカだった私は、まずそれを我慢する
事から始まりました。すぐにどうしよう...となる私を、高田先生は、
大丈夫ですよ。そういう時はこうですよ。といつも優しく対応して
下さいました。高田先生に教えていただいた対応をとり、3ヶ月後
家から歩いていこうと娘と約束した日、途中まで一緒に歩いて
行くと言っていたが、そこより手前で、「ママ、もう帰っていいよ」
と言ってくれました。あまりに嬉しくて、早朝にもかかわらず、
高田先生にメールした事を今でも覚えています。
そして卒業した今、あー今の対応は高田先生が、お母さんその対応
いいですねーと言ってくれそうだな。あー今は、こう
したら良かったな、と主人とお互いに注意しあい
ながら、楽しんで子供達と過ごしています。
娘も毎日「たたいまー! ママ今日さー!」
と学校であった事を

たくさんたくさん話してくれています。1年前は、まさかこんな日々を送る子とは思いませんでした。

ペアレントキャンプそして高田先生に出会えて、本当に感謝しています。

最後の電話カウンセリングでは、泣きそうになるのを、必死に堪えましたが、最後の家庭ノートの先生のメッセージで思わず泣いてしまいました。寂しさと、今まで支えて下さった感謝の気持ちでいっぱいになりました。支援当初、ネガティブな私を励かまし、たくさん勇気づけて下さいました。自分の子供の身で、共に戦ってくれた私にとっては、戦友のような存在です。本当に貴重な1年間をありがとうございました。

この1年間で、教えていただいた、家庭教育を忘れない。

これからも家族で乗り越えていきたいと思いき。

高田先生はじめ、カウンセラーの先生方。

日々全国を飛びまわり、お忙しいとは

思いますが、どうかご自愛下さいませ。

一人でも多くの子供達が、笑顔で学校に行ける
世の中になるよう、是非全国に広めてほしいです。
陰ながら、応援しています。

この度は、本当にありがとうございました。